

沖縄食料産業クラスター形成促進フェアの開催

～「イノベーション沖縄 2007」 沖縄産学官共同研究開発成果合同発表会より～

1 イノベーション沖縄 2007

2007年9月7日（金）、沖縄産業支援センター（那覇市那覇市小禄 1831-1）において「イノベーション沖縄 2007」が開催された。このイベントは、様々な分野で研究開発及び産学官連携に取り組んでいる関係者及び関係機関が一堂に会し、沖縄における産学官連携の研究成果を発表することを目的に、2005年から3年にわたり実施されている。このイベントの中で、食料産業クラスター形成促進フェアを同時開催した。

「イノベーション沖縄 2007」の主催は、沖縄産学官連携推進協議会¹、沖縄ブロック地域科学技術振興協議会²、社団法人食品需給研究センター、財団法人沖縄県産業振興公社、沖縄地域知的財産戦略本部、OKINAWA 型産業振興プロジェクト、沖縄食料産業クラスター協議会で、内閣府、経済産業省、文部科学省、農林水産省及び沖縄県が実施する産学官連携事業やクラスター事業に取り組んでいる各関係機関が協力する形で行われた。

1.1. イノベーション沖縄 2007 の概要

「イノベーション沖縄 2007」の全体概要を説明する。沖縄産業支援センターの1階ホール及び展示場を利用し行われ、1階ホール前方をメイン会場として、①主催者挨拶、②基調講演第1部、第2部、③食料産業クラスター形成促進フェア、④報告「経済産業省技術戦略マップ 2007 について」が行われた。2つに区切った展示場では、分科会方式で、①沖縄総合事務局経済産業部の支援成果発表会、②沖縄県工業技術センター研究成果発表会、③産学官連携・バイオ事業研究成果発表会が行われた。また、1階ホール後方では、これらの発表内容がパネルで展示された。

参加者は、主に県内企業、産学官連携支援団体、研究者、行政関係者、学生など500名を超え、食料産業クラスター形成促進フェアには、約120人が入り、盛況であった。

日 程	
10:00-10:10	主催者挨拶 内閣府内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 沖縄県観光商工部長
10:10-11:00	基調講演第1部 演題：農業技術のパラダイムシフトを目指して 講師：森 有一（メビオール（株）代表取締役）
11:00-12:30	食料産業クラスター形成促進フェア 開会挨拶 沖縄食料産業クラスター協議会 会長 沖縄総合事務局農林水産部食料流通課 課長
	①食料産業クラスターの現状と課題 社団法人食品需給研究センター
	②食品総合研究所：食料産業への貢献（研究紹介） 食品総合研究所 企画管理部連携共同推進室
	③沖縄食料産業クラスター協議会の取組み 沖縄食料産業クラスター協議会
	④循環型社会を目指す『くいまる事業』について 合資会社オキスイ 資源循環事業本部
	⑤沖縄特産果実の機能性利用研究を活かした商品開発について 九州沖縄農業研究センター 南西諸島農業研究チーム
13:00-14:00	基調講演第2部 演題：産学官連携における「先端技術事業化の成功条件」 講師：西本 一郎（日経 BP 社 産学連携事務局 局長）
14:00-15:00	報告「経済産業省技術戦略マップ 2007 について」 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課
13:00-16:00	成果発表等（分科会方式） 沖縄総合事務局経済産業部の支援成果発表会
14:00-17:00	沖縄県工業技術センター研究成果発表会
15:00-18:00	産学官連携・バイオ事業研究成果発表会
11:00-18:00	パネル展示及びポスター発表
18:15-19:15	交流会（会費制）

¹ 内閣府沖縄総合事務局経済産業部、沖縄県、社団法人沖縄工業連合会、国立大学法人琉球大学

² 文部科学省科学技術・学術政策局地域科学技術振興室長、総務省沖縄総合通信事務所次長、内閣府沖縄総合事務局（総務部長、農林水産部長、開発建設部長、運輸部長及び経済産業部長）、環境省九州地区環境対策調査官事務所長



沖縄食料産業クラスター協議会の我那覇 明会長

2 食料産業クラスター形成促進フェア

ここでは、食料産業クラスター促進技術対策の一環として行った、食料産業クラスター形成促進フェアの内容を中心にレポートする。

2.1. 実施内容

開会挨拶として、沖縄食料産業クラスター協議会の我那覇 明（がなは あきら）会長、沖縄総合事務局農林水産部食料流通課の海勢頭 譲次（うみせど じょうじ）課長からご挨拶を頂き、沖縄食料産業クラスター協議会の設置報告と今後の取組みに向けた期待が示された。

まず、事業紹介として、食料産業クラスター促進技術対策の紹介を「食料産業クラスターの現状と課題」と題して、（社）食品需給研究センターの藤科が行った。

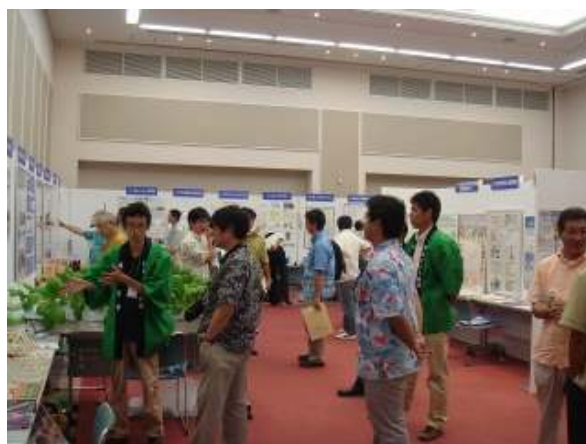
二つめの食品総合研究所連携共同推進室の濱松潮香研究技術普及チーム長の「食品総合研究所：食料産業への貢献（研究紹介）」と題する発表では、「食品総合研究所はバリアフリーな食品技術のコンビニを目指している」とし、気軽に相談を持ち込んでほしいと報告された。

三つめの沖縄食料産業クラスター協議会の我那覇 明会長の発表では、協議会はネットワークづくりと新商品開発の2本柱で活動しているという報告があり、現在51名という会員の拡大を図るための呼び掛けも行われた。

四つめは、クラスター協議会の会員企業である合資会社オキスイの資源循環本部長 鈴木宏明氏より、「循環型社会を目指す『くいまる事業』について」と題し、自社が参加しているホテル・食品工場等の食品残渣を飼料化するネットワークの活動紹介が行われた。



食料産業クラスター形成促進フェアの発表会場



パネル展示の様子

五つめは、沖縄県に駐在している九州沖縄農業研究センター南西諸島農業研究チームの生駒泰基チーム長の「沖縄特産果実の機能性利用研究を活かした商品開発について」と題する発表で、パインアップルやスターフルーツの機能性とそれを活かした商品開発の可能性が提起された。

六つめは、栄養生理学が専門の琉球大学教育学部健康栄養学講座の上江洲 榮子（うえず えいこ）教授より、「睡眠、学習、血液成分値からみた沖縄の食材の可能性」と題する発表があり、沖縄のクワンソウ（秋のわすれ草、ユリ科の食用花）の不眠症に効くという効用が紹介された。

（文：社団法人食品需給研究センター 藤科 智海）